

## 許容張力・曲げ半径

キャブタイヤケーブルを長期間安定してご使用いただくために、下記の値を参考にケーブルに過度の「張力・曲げ・側圧」を与えないようにして下さい。

### 品種区分

一般キャブタイヤケーブル	耐屈曲型キャブタイヤケーブル	KT 導体キャブタイヤケーブル
2PNCT 3PNCT 2SKCT 2PLCT 2FFCT 2PPCT	CT-2PNCT T-2PNCT-J T-2PNCT T-2PNCT-U-J T-2PNCT-U TT-2PNCT GT-2PNCT-J GTT-2PNCT BGTT-2PNCT BGTT-2PNCT-U 補強型 T-2PNCT-J	KT-2PNCT-J KT-2PNCT KTT-2PNCT-J KTT-2PNCT 補強型 KT-2PNCT-J 補強型 KT-2PNCT

### 許容張力

		許容張力						
品種区分	計算方法（下記の方法で行うが、最大値を 200kg）【注3】とする。							
一般キャブタイヤケーブル 耐屈曲型キャブタイヤケーブル	許容張力	最大許容張力						
	KT 導体キャブタイヤケーブル	【最大許容張力】 = 【公称断面積】 × 【線心数】 × 2.7						
【例】 T-2PNCT 16C × 2.0mm <sup>2</sup> の場合 2.0 × 16 × 2.7 ≒ 86 (kg)								
【最大許容張力】 = 【許容張力 A】 + 【許容張力 B】 【許容張力 A】 = 【公称断面積】 × 【線心数】 × 2.7 【許容張力 B】 = 【1心の補強紐本数】 × 【線心数】 × 1.5								
【例】 KT-2PNCT 16C × 2.0mm <sup>2</sup> の場合 16 × 11.4 ≒ 180 (kg)								
		サイズ	0.75mm <sup>2</sup>	1.25mm <sup>2</sup>	2.0mm <sup>2</sup>	3.5mm <sup>2</sup>	5.5mm <sup>2</sup>	
1心当	補強紐の数	2本	3本	4本	6本	9本		
	許容張力 A	2.0kg	3.3kg	5.4kg	9.4kg	14.8kg		
	許容張力 B	3.0kg	4.5kg	6.0kg	9.0kg	13.5kg		
	最大許容張力	5.0kg	7.9kg	11.4kg	18.4kg	28.3kg		

【注1】 長期間安定してご使用いただくためには、最大許容張力より小さい、次の計算式による値を使用して下さい。

【許容張力】 = 【公称断面積】 × 【線心数】 × 2.0

【注2】 ゴム系の場合、2種(例:KT-2PNCT)・3種(例:KT-3PNCT)とも同じ値となります。

【注3】 最大値200kgは、当社規定です。

### 曲げ半径

曲げ半径（ケーブル仕上げ外径※1に対する倍数）

品種区分	可動部		固定配線部	
	最小曲げ半径			
一般キャブタイヤケーブル	/		遮蔽なし	4倍以上
			遮蔽あり	6倍以上
耐屈曲型キャブタイヤケーブル	10倍以上 ※2		同上	
KT 導体キャブタイヤケーブル	6倍以上 ※2		同上	

※1 平型ケーブルの場合は短径

固定配線：移動を伴わない固定配線で使用する場合。

※2 曲げ半径は用途毎に異なるため、品種別選定表(P5～P6)を参照してください。